

派遣時給 上昇傾向続く

営業・販売・サービス系 伸び顕著

- 『営業・販売・サービス系』を中心に派遣社員の平均時給が上昇。人材不足が原因か。
- 派遣法改正等により、派遣会社はコスト増加。時給引き上げ以外に交通費の支給等で人材確保も。
- 人材不足が解消されない限り、派遣社員の時給上昇は今後も継続か。

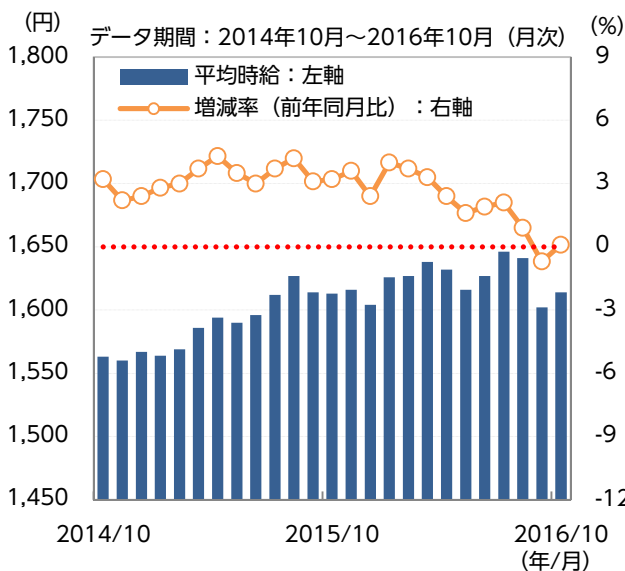
求人情報大手のリクルートジョブズがまとめた三大都市圏（関東・東海・関西）の2016年10月の派遣社員の募集時平均時給は前年同月比0.1%高い1,614円となりました（図表1）。9月に前年を下回ったものの、再び増加へと転じています。サービスやIT（情報技術）を中心に人手不足が続いており、派遣会社は時給を上げないと社員を集めることが困難になっているようです。

近年、時給の伸びが特に目立つのは『営業・販売・サービス系』で、前年同月比2.2%上昇の1,426円と過去最高を更新しました（図表2）。携帯電話の販売やコールセンター業務で、フルタイムの従業員を中心に獲得競争が激しくなっています。また、燃油特別付加運賃（燃油サーチャージ）がゼロになったこと等により海外旅行に行く人々が増加していることから、接客スタッフの時給など、旅行業も伸びているようです。

昨年9月の派遣法改正により、派遣会社に対して1年に8時間以上、有給の教育訓練を派遣社員に施すことが義務づけられました。また今年の10月1日から社会保険の適用範囲が拡大され、派遣労働者の一部も対象となりました。派遣会社にとってコスト増加の要因となりますが、人手不足が深刻化する中、時給の引上げ以外に交通費を支給したり、無期雇用に乗り出すなどして人材を確保するところも増加してきているようです。

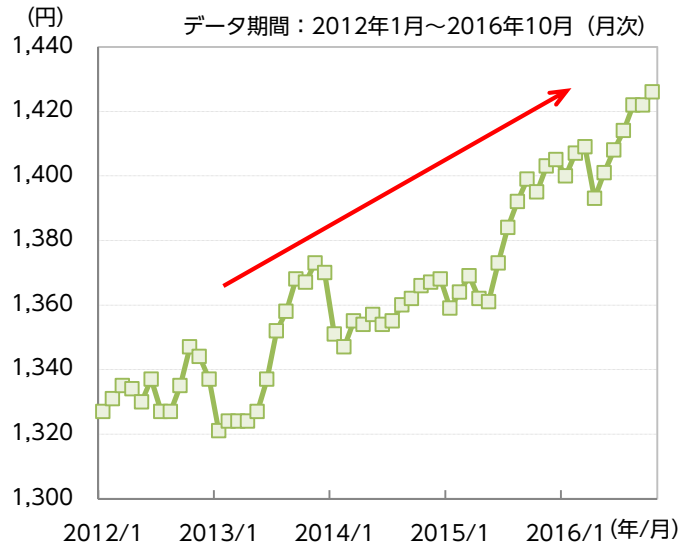
近年の慢性的な人手不足が解消されないかぎり、派遣社員の時給や企業が派遣会社に支払う料金の上昇傾向は今後も継続するものとみられます。

図表1：三大都市圏の派遣時給（前年同月比）は再びプラス圏に



※三大都市圏全体の平均時給の推移

図表2：『営業・販売・サービス系』の時給は過去最高



※『営業・販売・サービス系』の時給の推移

出所：図表1、図表2は（株）リクルートジョブズの資料を基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会